

財務諸表論 解答速報

第69回税理士試験 財務諸表論解答速報 第4版(2019年8月8日 17:00現在)

解答は弊社独自の見解に基づき作成するもので、主催者の解答を保証するものではありません。
また、解答は予告なく変更することがあります。

〔第一問〕

問 1

(各 1 点)

(1)①	オ	(1)②	イ	(1)③	エ	(2)	ウ
(3)	オ	(4)	ア	(5)	ウ		

(6)

(5 点)

本問での運送業における車両は事業用の固定資産に該当する。事業用の固定資産については、通常、市場平均を超える成果を期待して事業に使われているため、市場の平均的な期待で決まる時価が変動しても、企業にとっての投資の価値がそれに応じて変動するわけではなく、また、投資の価値自体も、投資の成果であるキャッシュ・フローが得られるまでは実現したものではない。したがって、本問での運送業における車両については、取得原価を基礎とした評価によってとらえるのが適切である。

問 2

(各 1 点)

(1)(a)	キ	(1)(b)	エ
--------	---	--------	---

(2)

(各 2 点)

引当金 A の小問(1)(a)による評価額	100
引当金 B の小問(1)(b)による評価額	0

(2 点)

(3)	ウ
-----	---

(4)

(5 点)

生起し得るキャッシュ・フローの結果が多数考えられる状況においては、小問(1)(a)における期待値方式を用いて評価すると、実際のキャッシュ・フローから大きく乖離することなく、適切な損益の把握の観点から合理的である。一方、単一のキャッシュ・フローが発生する可能性が高い状況(キャッシュ・フローが発生しない可能性が高い状況を含む)においては、期待値方式を用いて評価すると、実際のキャッシュ・フローから乖離する可能性があるため、小問(1)(b)における最頻値方式を用いた評価が適切な損益の把握の観点から合理的である。

8月8日(木) 21:30 より解答速報会を LIVE 配信で実施！！
得点すべき箇所、合格ラインの目安など一挙公開！！

財務諸表論 解答速報

〔第二問〕

問 1

(1) (各 1 点)

①	実現主義	②	対 応
③	取得原価	④	費用配分

(2) (1 点)

歴	史	的	原価会計
---	---	---	------

(3) (6 点)

<p> その他有価証券の時価は投資者にとって有用な情報であるが、その他有価証券については、事業遂行上等の必要性から直ちに売買・換金を行うことには制約を伴う要素もあるため、評価差額を直ちに当期の損益として処理することは適切ではないと考えられる。そのため、即時損益処理が行われない。 </p>
--

問 2

(1) (各 1 点)

①	コ	②	ア	③	セ	④	カ
---	---	---	---	---	---	---	---

(2) (各 5 点)

①	所有権移転外ファイナンス・リース取引には、リース物件の取得と異なりリース物件を使用できる期間がリース期間に限定されるという特徴があるため、原則としてリース資産の償却期間はリース期間とし、残存価額はゼロとする。
②	所有権移転外ファイナンス・リース取引では、リース物件の返還が行われるため、物件そのものの売買というよりは、使用する権利の売買の性格を有するため、自己所有の固定資産とは異なる減価償却方法を採用できる。

8 月 8 日(木) 21:30 より解答速報会を LIVE 配信で実施！！
 得点すべき箇所、合格ラインの目安など一挙公開！！

財務諸表論 解答速報



〔第三問〕

問1 貸借対照表及び損益計算書

貸借対照表

2019年3月31日現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	(649,076)	I 流動負債	(475,079)
〔現金及び預金〕	(① 262,191)	買掛金	(132,892)
売掛金	(184,742)	短期借入金	(① 10,000)
〔有価証券〕	(① 1,820)	〔一年内返済予定長期借入金〕	(① 152,000)
商品	(① 199,969)	未払金	(83,409)
〔前払費用〕	(2,201)	〔未払法人税等〕	(① 9,082)
貸倒引当金	(① △ 1,847)	〔未払消費税等〕	(① 15,193)
II 固定資産	(591,829)	未払費用	(9,492)
有形固定資産	(521,345)	預り金	(22,309)
建物	(① 133,334)	〔賞与引当金〕	(39,412)
構築物	(14,810)	〔役員賞与引当金〕	(① 1,290)
工具、器具及び備品	(① 154,901)	II 固定負債	(475,736)
土地	(① 218,300)	〔社債〕	(① 80,000)
無形固定資産	(2,156)	長期借入金	(① 361,000)
ソフトウェア	(2,156)	〔退職給付引当金〕	(① 34,736)
投資その他の資産	(68,328)	負債合計	(950,815)
投資有価証券	(① 2,489)	純資産の部	
〔関係会社株式〕	(① 37,400)	I 株主資本	(290,338)
〔長期性預金〕	(① 12,000)	資本金	(110,000)
長期前払費用	(839)	資本剰余金	(100,150)
繰延税金資産	(15,600)	資本準備金	(100,000)
〔 〕	()	〔その他資本剰余金〕	(① 150)
		利益剰余金	(84,388)
		利益準備金	(200)
		〔その他利益剰余金〕	(84,188)
		繰越利益剰余金	(84,188)
		〔自己株式〕	(① △ 4,200)
		II 評価・換算差額等	(△ 248)
		〔その他有価証券評価差額金〕	(① △ 248)
資産合計	(1,240,905)	純資産合計	(290,090)
		負債及び純資産合計	(1,240,905)

※ 「現金及び預金」は、「現金預金」でも可。

会社計算規則第74条第3項第一号ハに基づき、決算日後1年以内に回収されている売掛金42千円について流動資産の区分に表示していますが、題意(空欄の関係上)から、投資その他の資産の区分に「破産更生債権等42千円」流動資産「売掛金184,700千円」とする解答も別解として認められると考えられます。

財務諸表論 解答速報

損益計算書

自 2018年4月1日

至 2019年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		(① 2,230,233)
売 上 原 価		(① 1,604,468)
売 上 総 利 益		(625,765)
販売費及び一般管理費		(587,362)
営 業 利 益		(38,403)
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	(① 115)	
[為 替 差 益]	(① 684)	
雑 収 入	(342)	(1,141)
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	(① 38,933)	
[社 債 利 息]	(① 380)	
[社 債 発 行 費]	(① 724)	
[支 払 手 数 料]	(① 150)	
雑 損 失	(① 137)	(40,324)
経 常 利 益		(△780)
特 別 利 益		
[固 定 資 産 売 却 益]	(① 8,100)	(8,100)
特 別 損 失		
[投 資 有 価 証 券 評 価 損]	(① 553)	(553)
税 引 前 当 期 純 利 益		(6,767)
[法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税]	(① 6,830)	
[法 人 税 等 追 徴 税 額]	(① 340)	
[法 人 税 等 調 整 額]	(① △ 600)	(6,570)
当 期 純 利 益		(197)

財務諸表論 解答速報

問2 販売費及び一般管理費の明細

(単位：千円)

科 目	金 額
報酬及び給料手当	390,284
賞 与	(33,487)
[賞与引当金繰入額]	(① 39,412)
役員[賞与引当金繰入額]	(1,290)
法定福利費	(① 59,742)
退職[給付費用]	(① 6,406)
支払手数料	(① 1,850)
修繕費	(① 498)
消耗品費	(① 3,534)
貸倒[引当金繰入額]	(360)
租 税 公 課	(① 6,605)
減価償却費	(① 25,154)
その他経費	18,740
合 計	(587,362)

問3 キャッシュ・フロー計算書(一部抜粋)

a	営業活動	①
b	税引前当期純	①
c	+	①
d	投資活動	①
e	+30,000	①
f	財務活動	①
g	現金及び現金同等物	①

第 69 回 税理士試験 財務諸表論 講評

第一問

概念フレームワークと引当金に関する論点整理が主に出題されました。解くのに時間がかかる難易度が高い問題でした。

問 1 (1)～(5)の、財務諸表における認識と測定に関する適切な文章を選択する問題は、間違った文章を消去することにより解答が絞られるため、7問中、5問は正解していただきたいところでは。

(6)の運送業における車両の評価に関する記述は、減損会計の意見書をもとに部分的にでも書ければ十分かと思えます。

問 2 (1)の期待値方式と最頻値方式を選ぶ記号選択問題はできれば正解していただきたいところでは。

(2)の期待値方式と最頻値方式をそれぞれ選択したことによる評価額の計算問題と翌期の会計処理は、3問中、2問は正解していただきたいところでは。

(4)の期待値方式と最頻値方式それぞれによる評価が適切な損益の把握の観点から合理的と云うる状況を記述する問題は、多くの受験生ができないと思われるため、できなくても気にする必要はありません。

第二問

企業会計原則における会計上の認識・測定と、ファイナンス・リース取引に関する会計処理が主に出題されました。典型的な論点が多くありましたが、点数はそれほど伸びないのではないかと思います。

問 1 (1)①～④の、損益計算書原則と貸借対照表原則における空欄補充問題は、非常に基本的な論点であるため、全問正解していただきたいところでは。

(2)の(歴史的)原価会計はできなくても気にする必要はありません。

(3)のその他有価証券の評価差額が損益処理されない理由は、典型的論点であるため、部分的でも書いてほしいところでは。

問 2 (1)①～④のファイナンス・リース取引の判定に関する記号選択問題は、計算をイメージして、全問正解していただきたいところでは。

(2)の所有権移転外ファイナンス・リース取引の減価償却費の算定方法が所有権移転ファイナンス・リース取引の減価償却費の算定方法と異なる理由を2つ書く問題については、意外に書きづらい内容であるため、1つ書ければ十分かと思えます。

第三問

計算問題は問題文の量は多くはなく、税効果会計を除き非常に難解な論点はありませんでしたが、問題文の指示があいまいで判断に迷う箇所がいくつもあり、全体的に点数がとりづらい問題でした。

手をつけてほしい箇所は、現金預金、貸倒引当金、有価証券、棚卸資産、有形固定資産、社債、退職給付、自己株式、諸税金と、キャッシュ・フロー計算書に関する記入問題です。

借入金と金利スワップ、税効果会計は、できなくても気にする必要はありません。賞与については、これまでの知識を活かして部分的でも得点できればそれだけ有利になるかと思います。

予想合格ボーダーライン

以上を踏まえての合格のボーダーラインは次のとおりとなります。

第一問	第二問	第三問	合計
12点	12点	32点	56点

第70回税理士試験対策 WEB 講座のご案内

第69回税理士試験の受験お疲れ様でした。今年の本試験が終わると、多くの方は来年度、第70回税理士試験受験に向けた準備を始められることと思います。

ネットスクールでは、8月後半より2020年度(第70回)税理士試験に向けた科目選びや講座選びに役立つイベントをインターネット上で無料配信致します。WEB講座や解答速報会と同じシステムを使うので、リアルタイムでご参加頂くと、チャットを通じて講師に直接相談や質問をすることも可能です。

第70回税理士試験対策 WEB 講座無料イベントスケジュール

※都合により予告なく変更となる場合がございます。ご了承ください。

月	火	水	木	金	土	日	
8/5	6	7	8	9	10	11	
	← 第69回税理士試験本試験 →						
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
	← 科目別 WEB 講座無料説明会(20:00~) →						
	法人税法	消費税法	簿記/財表	相続税法			
	← WEB 講座開講前無料オリエンテーション(20:00~) →						
26	27	28	29	30	31	9/1	
	簿記/財表	法人税法	消費税法	相続税法			
	← WEB 講座開講無料体験講義(20:00~) →						
2	3	4	5	6	7	8	
	簿記論	法人税法		財務諸表論	相続税法		
9	10	11	12	13	14	15	
	← WEB 講座開講無料体験講義(20:00~) →						
		消費税法					
※ 国税徴収法は、以下の日付よりオンデマンド配信を行う予定です。 無料説明会: 8/23(金) オリエンテーション: 8/26(月)							

【無料説明会】
各科目の概要やWEB講座の特長・学習スタイルなどをお伝えします。

【無料オリエンテーション】
開講に先立ち、科目別の効率的な学習方法や心構えをお伝えします。

【無料体験講義】
各コースの初回 OUTPUT 講義を無料配信します。ぜひ、実際の講義を体験してみてください。

WEB講座の特長

インターネットで授業配信

講義はインターネットを通じて行います。パソコンとWEB環境があれば、自宅でも会社でも受講可能です(事前に環境の確認ができます)。

Live配信とオンデマンド配信のハイブリッド配信で安心

基本的に授業は決まった曜日・時間に生講義を配信します。Live配信なので、チャットを使って講師に質問することも可能です。

また、配信した講義はすべて収録し、翌日以降オンデマンド(録画)配信します。見逃した講義はもちろん、復習のために何度も受講可能です。(開講後のお申込みもOK)

合格サポートもバッチリ!

疑問や不安があるときは、どんどんご質問ください。講義中のチャットはもちろん、電話やメール、受講生専用SNS「学び舎」などのサポート手段をご用意しています。

スマホでの受講や倍速再生で効率的な学習が可能

WEB講座はパソコンだけでなく、スマートフォンやタブレット端末(対応機種)でも受講できます。また、オンデマンド配信されている講義は1.5倍/2.0倍速での再生にも対応しているので、忙しい方でも効率的に学習できます。

パソコンでの受講画面イメージ⇒

1 講師画面

講義を行う講師の表情・動きを表示する画面です。

2 チャット画面

Live講義中の講師へのメッセージを表示します。

3 ホワイトボード画面

板書画面です。ここに講師が書き込みながら講義を進めます。

4 アンケートボタン

Live講義中、講師が投げかけた質問に回答するボタンです。



【WEB講座ショッピングクレジット金利無料キャンペーンのお知らせ】

3万円以上のWEB講座のお申し込みでご利用頂けるショッピングクレジット(分割払い)の金利を、2019年9月9日(月)正午までの期間限定でネットスクールが全額負担いたします! この機会をお見逃しなく!

イベントやWEB講座の詳細、受講のお申込はネットスクールホームページをご覧ください。皆様のご受講、お待ちしております。

<https://www.net-school.co.jp/> or 『ネットスクール』で検索!